

# 「美の祭典 越中アートフェスタ」について

## 1 開催の趣旨と経緯

- (1) 女性美術展と勤労者美術展を発展させた新しい時代にふさわしい公募型の美術展
- (2) 県民の皆さんが幅広く参加し、交流する美術展
- (3) 春の県展（県美術展）に対する、秋の美術展として、美術を愛好する県民の皆さんが一同に集う美術の祭典とする。

上記3つの観点から、実行委員会（開会前2回）において、美術関係者、有識者など幅広い意見を伺い、2006年から開催。

## 2 越中アートフェスタ 2025 の開催とこれまでの開催結果

	2025 (予定)	2024	2023	2022	2021
出品点数	11/12 搬入 (平面・立体)	467(398・69) (平面・立体)	485(419・66) (平面・立体)	577(496・81) (平面・立体)	527(436・91) (平面・立体)
入選点数	11/13 監査・審査 (平面・立体)	467(398・69) (平面・立体)	483(417・66) (平面・立体)	577(496・81) (平面・立体)	525(436・89) (平面・立体)
展覧会期	11月15日(土)～ 19日(水)【5日間】	11月16日(土)～ 20日(水)【5日間】	11月18日(土)～ 22日(水)【5日間】	11月19日(土)～ 23日(水・祝)【5日間】	11月20日(土) ～24日(水)【5日間】
交流事業	○ 受賞者クロストーク (11月15日) ○ 作品講評 (11月16日、19日) ○ 子どものための絵画 ワークショップ (11月18日) ○ 書道パフォーマンス (11月15日) ○ 組子細工体験会 (11月16日) ○ ミニコンサート (11月19日) ○ 工作ショー【20周年】 (11月16日)	○ 受賞者クロストーク (11月16日) ○ 作品講評 (11月17日、20日) ○ 子どものための絵画 ワークショップ (11月18日) ○ 書道パフォーマンス (11月16日) ○ チョークアート体験会 (11月17日) ○ ミニコンサート (11月20日)	○ 受賞者クロストーク (11月18日) ○ 作品講評 (11月19日、22日) ○ 子どものための絵画 ワークショップ (11月20日～21日)	○ 受賞者クロストーク (11月19日) ○ 作品講評 (11月20日、23日) ○ 子どものための絵画 ワークショップ (11月21日～22日)	○ 県内の幼児・児童による 共同壁画作品展示 (11月20日～24日・ 富山県民会館) (11月27日～12月2日・ 富山県高岡文化ホール) (12月4日～9日・北日本新 聞社新川支社ギャラリー) (12月11日～16日・北日本 新聞社砺波支社ギャラリー) (12月18日～1月10日・ 富山県立中央病院)

## 3 特色（アピールポイント）

- (1) 分野の枠を取り払い、平面と立体の2部門で受け付け、デザインやガラスなども取り込んで分野を超えた、造形的にもユニークな作品の出品が見られる。
- (2) 年齢、性別、職業などの制限がなく、誰でも出品できるようにし、幼児からプロ作家の作品が一堂に展示され、子どものためのワークショップなども実施。(2020、2021はコロナにより中止)
- (3) 美術作家のみならず、学芸員などの美術館関係者や大学教員等が審査員に加わり、多様な視点からの審査が行われている。
- (4) 2010年から、過去に中央展・市町村展等の公募展や、学内展・団体展・個展、新聞・ギャラリー等で発表された作品も出品可能とし、「これまでになかった美術展」の更なる活性化を図る。
- (5) 2013年からは、応募作品のサイズ規定を撤廃し、より多彩な応募・展示内容となった。
- (6) 2014年からは、受賞者クロストークを実施し、受賞者・審査員・来場者との交流の機会として好評をいただいている。(2020、2021は新型コロナウイルスの影響により中止)
- (7) 2015年は、10回目の年にあたり、例年の賞に加え、「10周年記念特別賞」が設けられた。
- (8) 2017年からは、同一部門での複数点出品を可とし、公募展の受賞作品の出品は不可とした。
- (9) 2018年からは、より一層の活性化を図るため、学生の出品料を半額とした。
- (10) 2021年からは、より一層の活性化を図るため、中学生以下の出品料を無料とした。
- (11) 2025年は、20回目の年にあたり、例年の賞に加え、「20周年記念特別賞」を設ける。  
また、20周年記念事業として、くぼたまさと工作ショーの実施を予定。